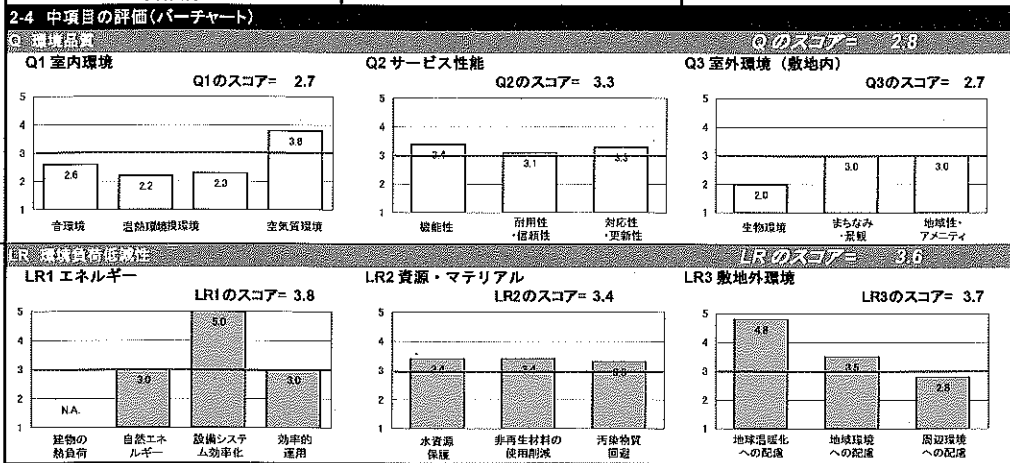
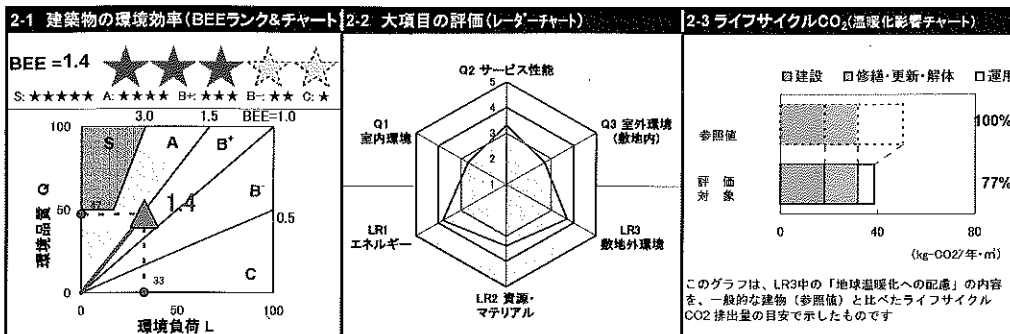


CASBEE とっとり

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	TSN米子流通センター		階数	地上2F	
建設地	鳥取県米子市流通町		構造	S造	
用途地域	準工業地域		平均居住人員	35人	
気候区分	地域区分IV		年間使用時間	3,000時間/年	
建物用途	工場		評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年10月	予定	評価の実施日	2012年4月26日	
敷地面積	3,545 m ²		作成者	土井原毅	
建築面積	1,995 m ²		確認日	2012年4月26日	
延床面積	2,539 m ²		確認者	土井原毅	



3 設計上の配慮事項		
総合	Qの値	LRの値
・シンプルな建物形状とし、また、道路境界線からできるだけ離れた建物配置とすることで、周辺環境に配慮		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・空調を細かくゾーニングし、さらにゾーン別に冷房・暖房の選択が可能な空調システムを採用 ・喫煙室を複数箇所設けることによる分煙化 ・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用	・事務エリアは、天井高2.7m以上、9m/f以上を確保し、ゆとりある空間とした	・景観条例に基づく緑地を確保し、かつ、歩道に沿って設けることで、周辺環境に配慮
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・南側の開口をできるだけ少なくすることで、空調負荷低減等に配慮 ・高効率省光灯具LEDの使用、また、WCや廊下は人感センサーによる照明のオンオフとすることによる省エネルギー化	・節水型便器の採用	・外壁材は、基本的に無彩色とすることで、周辺景観に配慮 ・広告照明等を設けないことによる、光害への配慮

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 10点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	10点 / 25点	
合計	10点 / 85点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい